

放射線の安全確認と農業・観光業への補償を求めよ 福島第1原子力発電所事故に対する対応の強化を

大東議員は、福島第一原子力発電所事故による農業や観光業への補償を東電に要求することや、放射線量の安全確認をおこなうよう求めました。

市長は農業や観光への影響について、「農業については、出荷停止や風評被害のため甚大な影響を受け、宿泊施設ではキャンセルが相次ぎ、影響は計り知れないものと受け止めています」と答えました。



放射線量の測定をおこなう大東議員と酒井県議

農作物や学校の放射能の安全確認については、「県、JA等と連携を図り、定期的な検査を予定し、学校については県の調査を参考にしたい」と答え、具体的な取り組みについては示されませんでした。

県民の命を守る県政へ こそげ知事の誕生で県政のチェンジを 小池晃日本共産党政策委員長が訴える

小池晃日本共産党政策委員長は、JR高崎駅でこそげ啓司知事候補とともに、原発ゼロ、命と暮らしを守る県政への転換を訴えました。

「放射線量が高いのが心配。子どもを守る対策を実現して欲しい」と参加者から声が寄せられました。



フュッセン市から国境を越えて支援の輪 東日本大震災の被災者支援のチャリティーコンサートを開催

ドイツ・フュッセン市（沼田市の姉妹都市）で、同市在住のピアニスト酒井雅子さんの呼びかけで、東日本大震災支援の慈善コンサートがおこなわれました。

5月31日までにフュッセン市から、7,450ユーロ（約871,650円）の義援金が寄せられています。

沼田市のホームページの「東日本大震災の沼田市情報」から、コンサートの動画を見ることができます。

熱戦 沼田かるた大会 57チーム114人が参加

第24回沼田市子ども会沼田カルタ大会が、6月26日、沼小講堂記念体育館でおこなわれました。



沼田かるたは、旧沼田市内の史跡や人物、自然などが読まれています。

大会では、小学校の各学年と中学生の部でおこなわれました。

東日本大震災への救援募金にご協力ください

大東議員が下記のところへご連絡ください。

連絡先 日本共産党利根沼田地区委員会
電話 23-1519

2011年7月3日

NO. 262

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



こんには 海江田経済産業大臣が、「定期点検」などで停止している原発の再稼働を関係自治体に要請したことを受け、原発の運転再開をめぐる動きが活発化しています。福島原発事故の収束のめども立っていないのに、政府が原発の再稼働を自治体に押しつけることはやめるべきです。

海江田経済産業大臣らは、政府が各電力会社に要求していた津波による全電源喪失や、シビアアクシデント（過酷事故）への緊急対策が実行されたことを再稼働要請の根拠にしていますが、東電福島原発の全体像や原因、経過も明らかになっておらず、政府が要請した緊急対策が実行されたからといって、それで「安全」と言えるものではありません。

原発が立地する一部の自治体で、議会や首長が再稼働にむけ動き出しているところもありますが、住民の多数は原発に対し、不安を強めており、住民合意のないままに、原発は動かすべきではありません。

こんには 大東のぶゆき です

ぶらい散歩 めまた道 利根町 その六 進 貝 千 歳 橋 青い目の人形

千歳橋は、慶長5年（1600）刎橋（はねばし）として、真田信之が会津の上杉景勝の対策として架けた橋で、会津街道の重要な地点でした。

全長19間（約16.2㍎）、幅2間（約3.6㍎）

で高欄のある橋で、千歳橋の少し上流に架けられていました。

利根東小には、昭和2年（1927）アメリカから親善使節として送られた、「青い目の人形」が残されています。



現在の千歳橋



青い目の人形(メリーちゃん)

太平洋戦争がはじまり、「青い目の人形」を処分しよう文部省が通達を出し、全国では多くの人形が焼却されてしまいましたが、利根東小では、当時の教頭が物置に隠し、「青い目の人形」を処分しませんでした。

昭和58年（1983）には、白沢小に残されていた「青い目の人形」と椎坂峠の望郷の碑で、交歓会がおこなわれました。